

とよおかのふくし



おもな内容

- 特集 発達障害って、なんだろう? 2
～理解・気づき・配慮・適切な支援が大切～
お知らせ 7



頑張る姿がまちを元気に!

7月26日、中竹野地区で「いかだくだり」が行われました。地域の方々が、一生懸命パドルを漕ぐ子どもたちにたくさんの声援を送っていました。



発行 豊岡市社会福祉協議会

◆この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金により発行しています◆

発達障害って、なんだろう？

〜理解・気づき・配慮・適切な支援が大切〜

発達障害とは

発達障害は脳機能の働きの違いが関係する障がいです。いくつかのタイプがあり、自閉症スペクトラム（自閉症、アスペルガー症候群）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）、などがあります。（それぞれの障がいの特性は下記の図をご覧ください）

また、発達のしかたに凹凸があり、得意なことと苦手なこととの差が非常に大きく、そのために生活に支障をきたしているという状態です。

保護者の育て方やしつけが原因で起こるものではありません。

適切な支援を

発達障害のある人は、周囲とコミュニケーションや対人関係をつくるこ



す。そのため、行動や態度が「自分勝手に変わった人」「困った人」と誤解されてしまい、生きづらさを感じてしまう場合があります。

地域でその人らしくいられるよう、周囲の配慮や、それぞれの方に合った適切なサポートが大切です。

テレビでの報道や、たくさんの書籍により、「発達障害」という言葉が耳にする機会は増えました。しかし、まだまだ誤解は多く、傷ついたり、社会での生きづらさを感じ、苦しんでいる当事者や家族もおられます。

今回は、発達障害を知って欲しい、同じように悩んでいる方をひとりぼっちにさせたくないとの思いで活動されている、「こはく」（発達障害について考える会）を取材し、お話を聴きました。（3ページへ）

それぞれの障がいの特性

注意欠陥多動性障害 ADHD

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしてられない)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

学習障害 LD

- 「読む」「書く」「計算する」等の能力が全体的な知的発達に比べ、極端に苦手

知的な遅れを伴うこともあります

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの質的なかたより
- 対人関係・社会性の質的なかたより
- パターン化した行動、こだわり

自閉症

自閉症スペクトラム

アスペルガー症候群

など

- 基本的に言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの質的なかたより
- 対人関係・社会性の質的なかたより
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 身体の安定の悪さ(言語発達に比べて)



発達障害について考える会「こはく」を取材

「こはく」とは

平成25年より「わが子の引きこもりがちな原因は、発達障害かも」と思う母親が集まり「こはく」を発足させました。こつこつと磨き続ければやがて光を放つ「こはく」。いつか発達障害を持つ子どもたちが、美しい輝きを放てるようにとの思いで名前がつけられました。

月に1回集まり、社会の中でうまく対応できず、閉じこもりがち、引きこもりがちな娘・息子とどう向き合えばいいのか、同じ悩みを抱えた親や当事者、支援者が一緒に考え、勉強をしています。

みんなで話し合ひ、考える

取材に行った日は、それぞれが日頃思っていることを話し合いました。

●子どもの障がい周囲に理解されず、就労が長続きしない。



●障がいを理解するよりも、できないことを埋めるための支援が先に来てしまう。

●ゆつくり成長する部分より、得意なことを一緒に見つけて、すすめて欲しい。

●普通に行っているように見えても、つらさを抱えていて、我慢していることを分かってもらえない。

●など、メンバーの思いをみんなで見え、共有しました。

メンバーの一人は「ここに来ることで、いろんな人と知り合え、人との関わりが深くなった。今までは親の思いだけで育ててきたが、ここにいると勉強し、子ども立場で話せるようになった」と話しています。

あなたはそこに居て良いんだよ

発達障害の特性は様々ですが、大人になるまで気づかない方も多いとのこと。実際に「こはく」のメンバーも、わが子が社会に出るようになったとき、上手く社会に溶け込めない、就労が続かないことなどから、障がいがあると分かった方がほとんどです。そのこともあり、家族でも「分からない、認めたくない」という思いと葛藤しながら、わが子の将来について悩み、考えています。発達障害を知らない、気づかないために、当事者や家族はたくさん傷つき、引きこもりなどの二次障害につながる例も少なくありません。

●周囲の方、地域の方に願うことは、どのような生き方であれ、その人を尊重して温かく見守って欲しいということ。です。

何を言っても安心な場所

「障がいや環境は違うけど、話すことで安心できたり共感できることが大切」とメンバーは感じています。

代表者の垣田栄さんは「発達障害が社会とつながりにくい障がいであることを理解して欲しい。障がいを持った子どもたちで、悩み、困っている人と一緒に活路を見い出したい。同じ悩みを抱えた方は一人で悩まず、一度でも良いから参加してみたい」と話しています。

発達障害について考える会
“こはく”

代表者 垣田 栄
連絡先 TEL 0796-48-0173
後援 一般社団法人トータルハーモニー
(城南町 19-17 2階)

豊岡

思いは ひつじ

地域づくり



訪問先にて

梶原区では、高齢者の方を対象に声かけ活動を行っています。『声をかけて元気になってもらいたい』という思いから『声・かけ隊』の活動が始まりました。黒田賢一民生委員、森田なち子民生協力委員（写真右端）、大木智宜子福祉委員（写真左から2番目）、を中心に活動しています。

活動内容は、ひとり暮らしの方や高齢者夫婦を一軒一軒訪ねて、生活の様子や困りごと、悩みごとなどを聞いて、相談に乗っています。状況の変化を素早く発見することで、地域の見守りネットワークづくりにつながっています。

森田さんは以前、民生委員の活動を行っていた時に、住民の不安や困りごとを支えるには、協力してくれる方が必要だと感じていました。3年前から、民生委員が黒田さんに代わり、大木さんを加えた3人を中心とした活動が始まりました。

住民の方々からは「心強くなる声かけをありがとう」「来てくんなることがありがたい」との声があり、『声・かけ隊』の訪問を楽しみに待っています。

『若い世代に活動を受け継いでほしい、誰もが元気に安心して過ごせる梶原にしたい』それが3人の思いです。

竹野

できる時に できることを

住民交流

昨年11月から今年の3月にかけて、生活支援サポーター養成講座が行われました。この講座は、地域での支え合い活動を実践するうえで必要な考え方や役に立つ知識を学ぶために開催されました。

それから3ヶ月を経て、竹野南地区で修了者の方から「他の方の様子が知りたい」との要望があり、7月15日に交流会を行いました。

今回集まったのは13人。講座修了後の活動に関する意見交換をする場となりました。「せっかく講座を受けたのだから具体的に活動できる場が欲しい」「講座を受けたものの、何をしたら良いのか分からない」など、一度の講座では、なかなか具体的な活動には結びついていない様子。「地域性を考えた現実的な活動をする必要がある」「手助けが必要な方にどこまで関わっていくのか」といった今後について



活発な話し合いが行われました

いての積極的な話し合いがなされました。

“ホッ” とな便利

子どもたちからは「昔のことがいっぱい聞いて良かった」「もっと長い時間交流していたかった」「おたのしみクラブのメンバーからは「やっぱり交流は笑顔になれて、いいな。来て良かった」と感想がありました。

交流後、おたのしみクラブからダルマのイラストと一緒に「招いてくれてあ



子どもたちがつくったクイズで楽しく交流しました

りがとう」「今後も交流を続けてください」などが書かれたた色紙が届きました。子どもたちも「また小坂小学校に来てください」「楽しい時間をありがとうございました」「楽しかったです」など書いた色紙を送りました。

出石

感謝の気持ち
お互いに

住民交流

ちょっと “ホッ” とな便利

2015(第29回)ひだか福祉まつり ふれあいフォト作品募集

- 【テーマ】ふれあいと笑顔あふれる写真
(家族・仲間・地域など)
- 【応募資格】豊岡市日高町内に在住または勤務している方(1人3点まで)
- 【写真サイズ】キャビネ判(120mm×178mm)
ホームプリンター印刷可
- 【募集期間】平成27年9月14日～10月16日
(土・日・祝祭日は除く)
- 【記念品】応募者全員に記念品を贈呈
(応募者1人に1個)
- 【その他】作品は11月8日の
「ひだか福祉まつり」会場に展示します



【応募・問合せ】
豊岡市社協 日高地区センター
TEL 42-0100

障がい者居場所づくり 参加者募集

障がいのある方もない方もみんな
で楽しく過ごしましょう。

城崎 あいあいカフェ

- 【日時】9月12日(土) 13:30～15:30
- 【場所】城崎健康福祉センター
- 【参加費】100円
- 【問合せ】豊岡市社協 城崎地区センター
TEL 32-4503

但東 ^{ハート} すまいる

- 【日時】9月27日(日) 10:00～15:00
- 【場所】高齢者生活支援センター のぞみ
(豊岡市但東町畑山199-5)
- 【参加費】100円
- 【問合せ】豊岡市社協 但東地区センター
TEL 54-0181

善意銀行だより



みなさまのあたたかい善意をありがとうございます。
地域福祉活動推進のために役立たせていただきます。

平成27年
7月1日～31日
(敬称略・受付順)

住所	氏名	金額(円)・物品	摘要
本所・豊岡地区センター受付分			
立野町	畠中 英彦	金一封	供養
宝塚市野上	北倉 一正	100,000	供養
大手町	田中 英美子	100,000	供養
竹野地区センター受付分			
阿金谷	長坂 澄子	金一封	供養
三原	橋本 孝子	金一封	供養
出石地区センター受付分			
三木	船木 和子	金一封	供養
大谷	中村 和夫	金一封	供養
小人	野村 隆司	金一封	故 松代様から 善意の預託
町分	田中 こずえ	金一封	禮二様の供養
田多地	太田 光典	金一封	供養

住所	氏名	金額(円)・物品	摘要
城崎地区センター受付分			
	匿名	2,150	善意の預託
来日	安田 洋子	100,000	供養
日高地区センター受付分			
府市場	中島 敏幸	金一封	善意の預託
日吉	金子 たみよ	金一封	善意の預託
野々庄	吉岡 美夫	金一封	供養
庄境	和田 憲人	金一封	供養
羽尻	中西 真由実	金一封	供養
但東地区センター受付分			
小谷	山田 富雄	金一封	供養
薬王寺	井上 宗夫	金一封	供養

恋♡村

豊岡市婚活応援プロジェクト
「はーとピー」第23回イベント

空気の澄んだ小さな村の中に昔ながらの民家があります。そこでしか食せない絶品料理とともに交流しませんか？

- 【日 程】 平成27年9月26日(土)
- 【集合時間】 16:30
※バスで送迎を希望される方
16:00 じばさんTAJIMA
- 【場 所】 谷間そば(豊岡市竹野町床瀬)
- 【定 員】 男女各10名
- 【参加費】 男性3,500円 女性1,000円
- 【募集期間】 平成27年9月16日(水)まで
- 【参加資格】 20～40歳の独身男女
※男性は豊岡市在住または在勤の方
- 【持ち物】 本人確認書(運転免許証など)
- 【参加方法】 電話またはメールでお申し込みください
※メールでお申し込みの場合は『恋♡村』に参加、氏名、携帯電話番号、住所、生年月日を入力してください。
★詳細「はーとピー」ホームページをご覧ください

【問合せ】

主催:豊岡市婚活応援プロジェクト はーとピー
豊岡市社会福祉協議会 地域福祉課 担当:藤田
TEL 0796-23-2573
MAIL heart-p@toyooka-wel.jp
HP <http://www.heart-p.com>

「ひきこもり」相談

ひきこもりとは、一般的にさまざまな要因が重なって、社会的な参加の場面がせばまり、就労や就学など自宅以外での生活の場が長期(概ね6ヶ月以上)にわたって失われている状態をさします。

自分の部屋から出られない人もいれば、他の人と交わらない形であれば外出できる人もいて、ひきこもりの状態も様々です。

ご本人、ご家族は、このような状況の中で、不安や悩みを抱え込んだままお過ごしの方も多いでしょう。一歩踏み出し、相談することで、気持ちが楽になったり、身近な情報を得たりすることで、新たな展開を開ききっかけになることもあります。

まずは一度
ご相談ください



【問合せ】

豊岡市健康福祉部健康増進課
TEL 22-7700
(もしもし電話健康相談)
FAX 24-9605

ボランティア・市民活動センター

NPO法人 コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク 主催

報告

第5回東北復興支援ボランティア派遣



いのちのネットワークは、年1回復興支援ボランティアバスを派遣しています。若者が被災地の現状を直に見て、被災者の生の声を聴いて考えることの大切さを感じ、多くの中高生ボランティアを派遣してきました。

今年も7月24日から26日にかけて、中高生30名と大人スタッフ46名が、原発事故により

今なお厳しい避難生活を続けている福島県浪江町と、以前から交流を続けている宮城県七ヶ浜町の仮設住宅を訪問しました。

福島県浪江町では、マスコミであまり報道されない被災者の生の声を聴きました。町が道路一つを挟んで避難区域と避難困難区域に区別され、子どもたちは仮設住宅には帰らなくなってしまい、町も家族もバラバラに。住んでいた家は荒れ、草木や獣でとても住める状態ではなく、先の見えない生活。被災者の1人は話します。「私たちは何もないゼロから出発するのではなく、マイナスからゼロに向かって進んでいる」と。このような中でも、集会場に集まり交流するのが楽しみだと話し、浪江町を訪問する支援ボランティアも少ないことから、今回の訪問は大変感激され、喜ばれました。

地元豊岡に帰ってきた中高生は、自分たちが見たこと聴いたことを豊岡市民に広く伝える必要があると感じ、報告会の開催や子ども新聞の発行、各学校の文化祭等での発表等を計画しています。



真剣に話を聴く中高生

報告会

9月25日(金) 18:00~19:30 豊岡市役所稽古堂にて
どなたでもご参加ください

お知らせ

第19回 いちどきん祭

「まごころこめておもてなし ようきんざった いちどきん祭」

【日時】9月26日(土) 10:00~15:00

【場所】こうのとり荘・コスモス荘周辺
(豊岡市塩津町)

【内容】★ステージイベント

オープニングセレモニー、豊岡総合高校吹奏学部による演奏、ハーヴィーによるフラダンス、誠心よさこい、カラオケ大会、餅まき大会

★バザー・模擬店等

黒糖ドーナツ棒、シークワーサージュース、新鮮野菜果物、フランクフルト、アイスクリーム、おでん、ラーメン、カレーライス、パン、山菜ご飯、コーヒー、焼きそば、焼き芋、たこ焼き等々

★日用品のチャリティーバザー

★その他

お茶席、介護用品の展示



主催：社会福祉法人 北但社会福祉事業会
TEL 24-4104

9月の各種相談日



いずれの相談も無料です

法律相談 気軽に弁護士に相談できる機会です。

(先着8名、電話予約のみ 予約受付 8/26 (水) 8:30 ~)

日	時間	場所	問い合わせ先
1日(火)	13:00 ~ 16:00	豊岡健康福祉センター	23-2573

※次回、10月の法律相談日は6日(火)、予約受付は9月30日8:30~

結婚相談 すてきな相手を見つけましょう ♥

日	時間	場所	問い合わせ先
2日(水) 9日(水)	13:30 ~ 16:00	出石健康福祉センター	52-3024
3日(木)	13:30 ~ 16:00	但東健康福祉センター	54-0181
4日(金) 18日(金)	13:00 ~ 16:00	豊岡健康福祉センター	23-2573
10日(木) 25日(金)	13:30 ~ 16:00	日高健康福祉センター	42-0100
11日(金)	13:30 ~ 16:00	竹野南地区公民館	47-1423

心配ごと相談 一人で悩まず、まずは相談を。

日	時間	場所	問い合わせ先
3日(木) 10日(木)	13:30 ~ 16:00	出石健康福祉センター	52-3024
3日(木) 17日(木)	13:30 ~ 16:00	城崎健康福祉センター 但東健康福祉センター	32-4503 54-0181
10日(木) 25日(金)	13:30 ~ 16:00	日高健康福祉センター	42-0100
16日(水)	13:30 ~ 16:00	竹野南地区公民館	47-1423
毎週月~金 (法律相談日は除く)	13:00 ~ 16:00	豊岡健康福祉センター	23-2573

びち♥えんじゅ

★立秋だというのにまだまだ暑い。しかし夕方になるとヒグラシの声がする。縁側でスイカとうちわを片手に夕涼み。もうすぐ秋ですね。(匿名)

★お盆なので、帰省。久しぶりの方にたくさん会い、懐かしの話をしました。昔の話を通じて、自分を省みる良ききっかけとなりました。(匿名)

投稿募集中!

嬉しかったこと、楽しかったことを教えてください。

投稿先

豊岡市社会福祉協議会

本所・各地区センターまで

社協職員

じやうしやうり

4月終わりに自転車を買いました。検診に向けて少しでも効果があればいいと思い、エコにもなるしお財布にもいいと。

でも梅雨に入ってしまった、明けたら乗ろう。が、連日35度を超える夏本番の暑さに、少しづつ自転車にほこりがたまってしまいました。早く爽やかな風の中、通勤したいな。(日高一)



社会福祉法人 豊岡市社会福祉協議会



ホームページ: [豊岡市社会福祉協議会](http://toyooka-wel.jp) 検索

メー ル: info@toyooka-wel.jp

本所・豊岡地区センター
城南町 23-6
電話 23-2573 FAX 24-4511

城崎地区センター
城崎町湯島 625-9
電話 32-4503 FAX 32-2940

竹野地区センター
竹野町須谷 1478
電話 47-1423 FAX 47-1878

日高地区センター
日高町祢布 891-2
電話 42-0100 FAX 42-4731

出石地区センター
出石町福住 1302
電話 52-3024 FAX 52-5716

但東地区センター
但東町出合 433-1
電話 54-0181 FAX 54-0182

ボランティア・市民活動センターの窓口は各地区センターにあります